



光る知性 豊かな心 強い意志

# 南中生

長井市立長井南中学校

令和 4 年 7 月 27 日

校長 赤間 幸生

## 大成長の夏へ 「努力の正解」を



「努力はウソをつく」 これは先日プロに転向の意向を表明したフィギュアスケートの羽生結弦選手の言葉です。厳しい練習や準備を重ねても、望んだ結果を得られるとは限らないという、勝負の世界に生きるトップアスリートならではの実感なのでしょう。ただその言葉には続きがあり、「でも無駄にはならない。『努力の正解』を見つけることが大切」と。一見、報われないと思う取り組みや失敗も、全て未来の勝利へと続く布石になると語っています。「努力は裏切らない」とはよく耳にしますが、まさにこのことを伝えているのです。つまずいても立ち上がり、新たなステージへと歩みを進めていく、その挑戦の歩みの中でこそ、(頑張ってきたのに・・・なぜ・・・) という出来事の「正解」が見つかることになるのです。

さあ夏休み。挑戦あるのみです。今までとは違う大成長の夏にしていきましょう！コロナ・SDGs・経済・紛争・気象の変化など、世の中の動きを注視し、自分はこう思うという意見や考えを持ちながら生活してほしいと思います。そして8月19日(金)は、325名全員と勢いのある2学期のスタートを楽しみにしています！



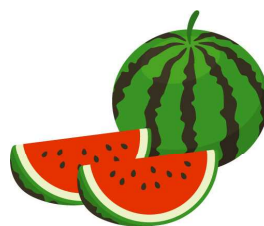
## 家族で「共育」を楽しむ夏に

大人は、子どもの成長と共に子どもへの関わり方が変わりますが、変わらないのが子どもを大切に思う心です。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 「乳児は、しっかり、肌を離すな」 | 乳児期は思いっきりスキンシップを  |
| 「幼児は、肌を離せ、手を離すな」 | 幼児期は友達との遊びから社会性を  |
| 「少年は、手を離せ、目を離すな」 | 児童期は善悪の判断とルールの厳守を |
| 「青年は、目を離せ、心を離すな」 | 青年期は客観的に見る目を      |

と言われます。青年期となる中学生は、自分で考え、判断し、行動していくことが多くあります。そこでも親は心を離さず、アドバイザーとして関わるのが大事。

家族は、安らぎの場として共感的に話を聞いたり、一緒に作業したりする中で、頑張りを認めたり、命の大切さを伝えたりすることが肝心です。身近な大人の関わりの中で、愛されること、大切にされることで情緒が安定し、信頼感が育つ時期で





す。「今さら」と思うより「今から」やってみましょう。「できない」とあきらめるより「何から」できるかを探ってみましょう。大人の意識を高めるだけで、一層より良い成長につながっていきます。この夏、「共育」を楽しんでみましょう！

## 栄光の記録



◇ 全日本吹奏楽コンクール第61回山形県大会置賜地区予選会 7月16日(土)  
中学校小編成の部 優秀 <県大会出場>

◇ 第62回 山形県中学校総合体育大会 7月23日(土)～24日(日)

### 【剣道】

- 男子団体 3位 <東北大会出場>
- 男子個人 2位 鈴木龍之介 <東北大会出場> <全国大会出場>



### 【柔道】

- 男子階級別 3位 鈴木 敬太 <東北大会出場>
- 女子階級別 3位 新野 結菜



### 【卓球】

- 男子個人 5位 植木 未来 <東北大会出場>



### 【陸上競技】

- 男子2・3年1500m 8位 小関 知弥
- 男子共通3000m 6位 小関 知弥 <東北大会出場>
- 男子共通走幅跳 7位 歌丸 裕斗
- 女子共通200m 5位 大瀧 悠里 <東北大会出場>
- 女子共通走高跳 8位 内谷 凜音
- 女子共通四種競技 6位 内谷 凜音



### 【水泳】

- 女子200m自由形 2位 飯澤 堇怜 <東北大会出場>
- 女子400m自由形 5位 飯澤 堇怜
- 女子800m自由形 8位 青木さくら



### 【バドミントン】

- 男子ダブルス 3位 加藤 悠雅・遠藤 佑真 <東北大会出場>

